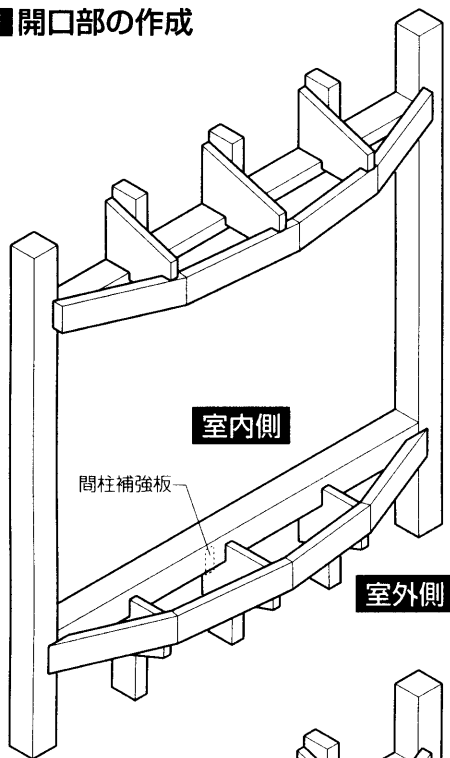


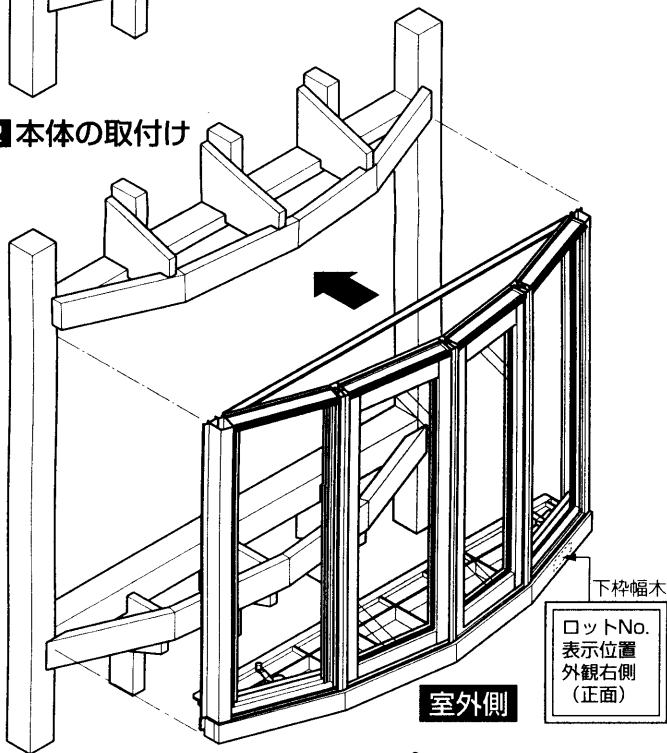
# 居室用出窓LJⅡ型（造）

## ■取付け順序

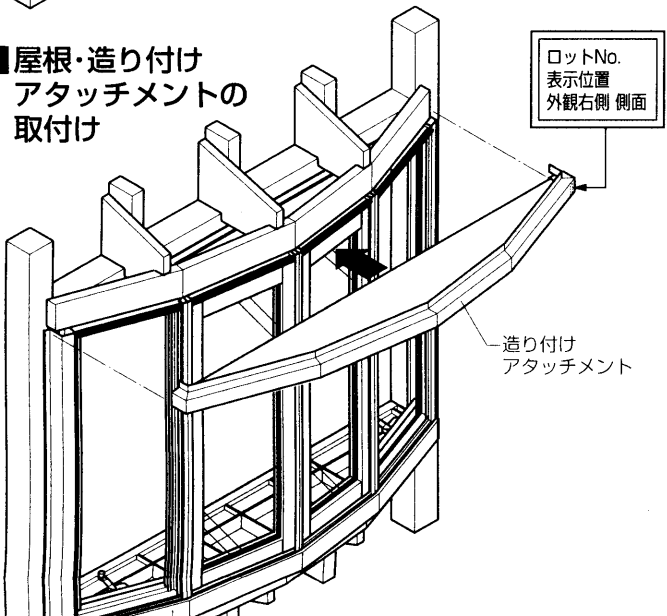
### 1 開口部の作成



### 2 本体の取付け



### 3 屋根・造り付け アタッチメントの取付け



※この説明書は、必ず施工される方へお渡しください。 ※

## ■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

**▲注意** …取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載しますので必ずお読みください。

- 本製品は取付け重量が最大で約70kgになります。重量に見合ってください。思わぬけがをするおそれがあります。
- 出窓の前倒れの原因になり、けがをするおそれがありますので、
  - ・柱・窓台・間柱は室外側を面一にしてください。
  - ・間柱補強板を、必ず間柱と窓台（室内側）へ取り付けてください。
  - ・窓台は厚さ45mm以上あることを確認してください。
  - ・下部受け材は本製品全重量（最大約95kg）に耐えられる強度の構造（下部受材の作り方参照）

## ■取付け詳細

●図中の記号は、ねじ台紙の記号と共通です。台紙を参照のうえ、

### 1 開口部の作成

●水平・垂直を出します。

### ▲注意

●間柱補強板を、必ず出窓を取り付ける前に間柱と窓台（室内側）へ取り付けてください。  
※窓台は厚さ45mm以上あることを確認してください。

### 【お願い】

●内装材を直張りする場合は、窓台・間柱を掘り込んで間柱補強板を取り付けてください。

### ▲注意

●柱・窓台・間柱は室外側に面一にしてください。

### ■在来工法の場合

●開口H寸法=出窓基本寸法H+28mm

●開口W寸法=出窓基本寸法

高さ呼称 (尺)	4.0	4.5	5.0
開口H寸法 (mm)	1213	1364	1516

幅呼称 (尺)	6.0
開口W寸法 (mm)	1696

### ■2×4工法の場合

●開口ROH寸法=出窓基本寸法H+30mm

●開口ROW寸法=出窓基本寸法

高さ呼称 (尺)	4.0	4.5
開口ROH寸法 (mm)	1250	1400

幅呼称 (尺)	6.0
開口ROW寸法 (mm)	1650

### ■上部受材・下部受材の作り方

〔下部受材から上部受材までの受材開口H'寸法の採り方〕

※開口H'寸法が正確にできていないと、本体の取付けができなくなりますのでご注意ください。

※下部受材の水平・垂直を確認してください。

### ■在来工法の場合

高さ呼称 (尺)	4.0	4.5	5.0
受材開口H'寸法 (mm)	1263	1414	1566

補強材

### ■2×4工法の場合

高さ呼称 (尺)	4.0	4.5
受材開口H'寸法 (mm)	1300	1450

上部受材

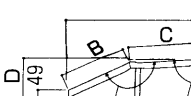
### ■上部受材寸法

※上部受材（左図）以下のとおりです。

### ■在来工法

幅呼称 (尺)	6.0	9.0
A	1719	2619
B	449	549
C	443.5	543.5
D	264	364

●幅呼称6.0尺



# (造り付けタイプ) 取付け説明書

※  内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■施工上のお願い

- 屋根にはしごを架けたり、のったりしないでください。傷・変形の原因になります。
- 組み立てた製品を運搬する際、枠の接合部に無理な力をかけないでください。変形するおそれがあります。
- テーブル板に衝撃を与えないでください。割れ・欠けの原因になります。
- テーブル板保護のため、テーブル板梱包用ダンボールで養生してください。
- 屋根の木製部に水がかからないようにしてください。ワレ・変形の原因になります。
- 上部のみ造り付けにする場合は、下枠補強材はユニットタイプを使用してください。
- 下部のみ造り付けにする場合は、屋根(ユニットタイプ)を使用してください。

## ▲注意

- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・下枠幅木が必ず外部に出る納まりにしてください。(詳細は参考納まり図をご覧ください。)
  - ・躯体と出窓の取合わせ部には防水テープ(別売り)を張ってください。
  - ・造り付けアタッチメントは必ず奥まで差し込んでから固定してください。固定位置に躯体がない場合は、先に躯体を造作してください。
  - ・躯体部の外壁は44mm以下に仕上げてください。
  - ・外壁部と出窓の取り合い部はシーリング処理してください。
  - ・造り付けアタッチメントシール材ははがさないでください。

照のうえ、間違いのないよう使用してください。

へ取り付けてください。

## ▲注意

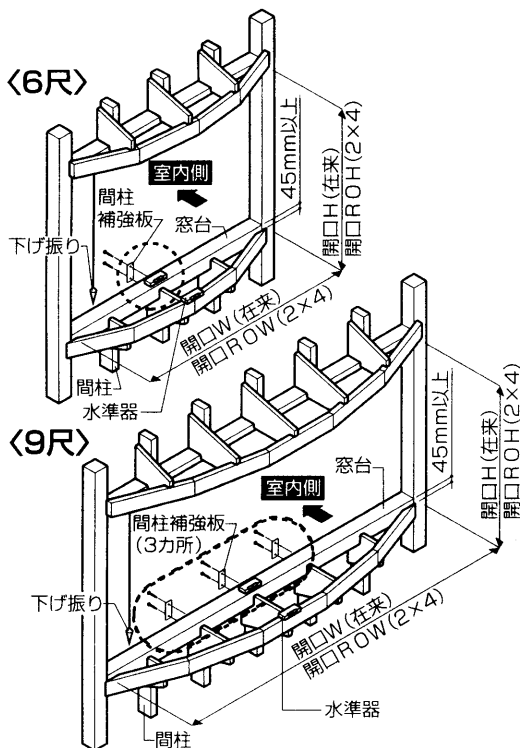
間柱は室外側を面一  
ください。

出窓基本寸法W+58mm

	6.0	9.0
(mm)	1696	2608

出窓基本寸法W+60mm

	6.0	9.0
(mm)	1650	2480



## 2 本体の取付け

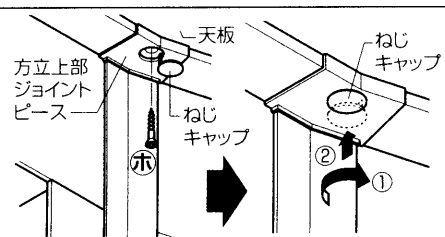
- ①本体を開口部に差し込み、ねじで固定します。
- ②縦枠(室外側)を、躯体と透き間のないよう固定します。

## 3 造り付けアタッチメントの取付け

- ①天板をはめ込んだ造り付けアタッチメントを本体に差し込み、方立上部ジョイントピースをねじ止めします。(A部詳細図)

### ■A部詳細図

※方立上部ジョイント  
ピースをねじ止めし  
た後、ねじキャップ  
を回転し(①)押し込  
みます。(②)



- ④φ4×20ナベタッピンねじで、造り付けアタッチメントを躯体に固定します。

## ▲注意

- 造り付けアタッチメントは必ず奥まで差し込んでから固定してください。固定位置に躯体がない場合は、先に躯体を造作してください。

## 上部受材寸法・下部受材形状の出し方

上部受材(左図上の○部)の寸法は  
以下のとおりです。

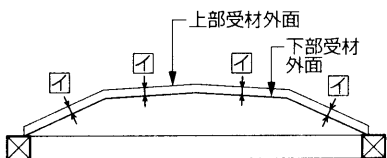
※下部受材(左図下の○部)の形状は  
以下のとおりです。

### 在来工法

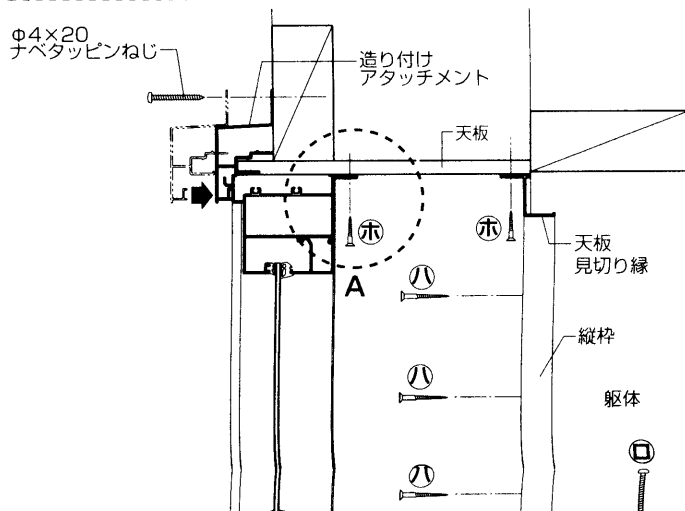
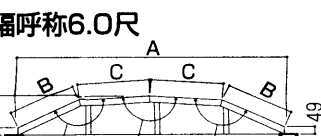
幅呼称(R)	6.0	9.0
A	1719	2631
B	449	547
C	443.5	542.5
D	264	344

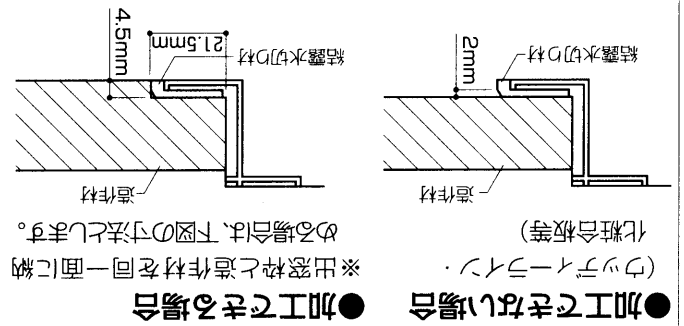
### 2x4工法

幅呼称(R)	6.0	9.0
A	1671	2501
B	436.5	520
C	431.5	515.5
D	258	329.5



※下部受材は上部受材形状より  
図寸法=(17mm+外壁仕  
上げ厚さ)分小さい(室内側  
に寄った)形状になります。

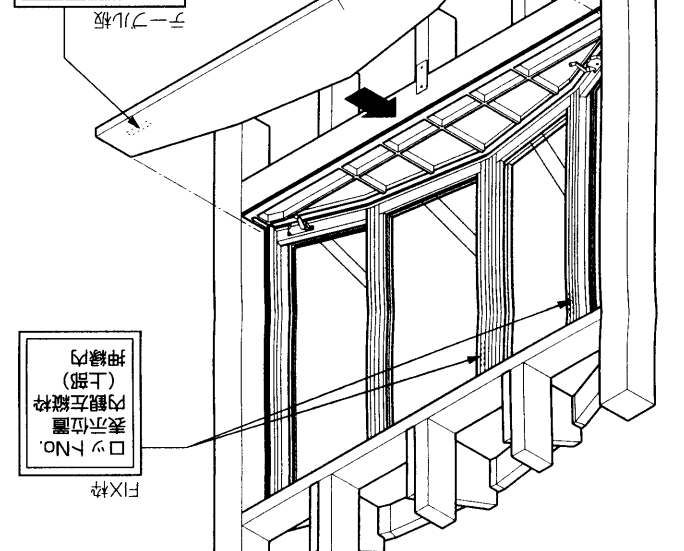




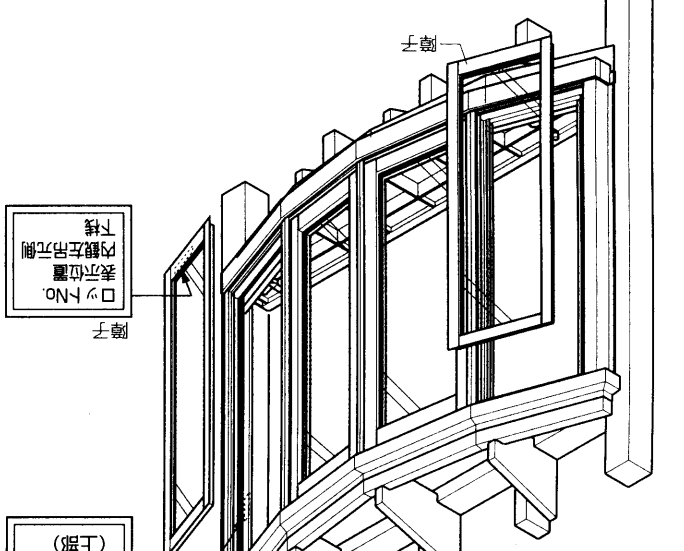
●加工できない場合 (ウツメーライソ) ※出窓枠と造作材を同一面に納める場合は、下図の寸法とします。

●結露水切り材 (オプシヨソ品) の取付け ※造作材 (仕上げ材) は、結露水切り材の厚みを考慮した寸法にしてください。

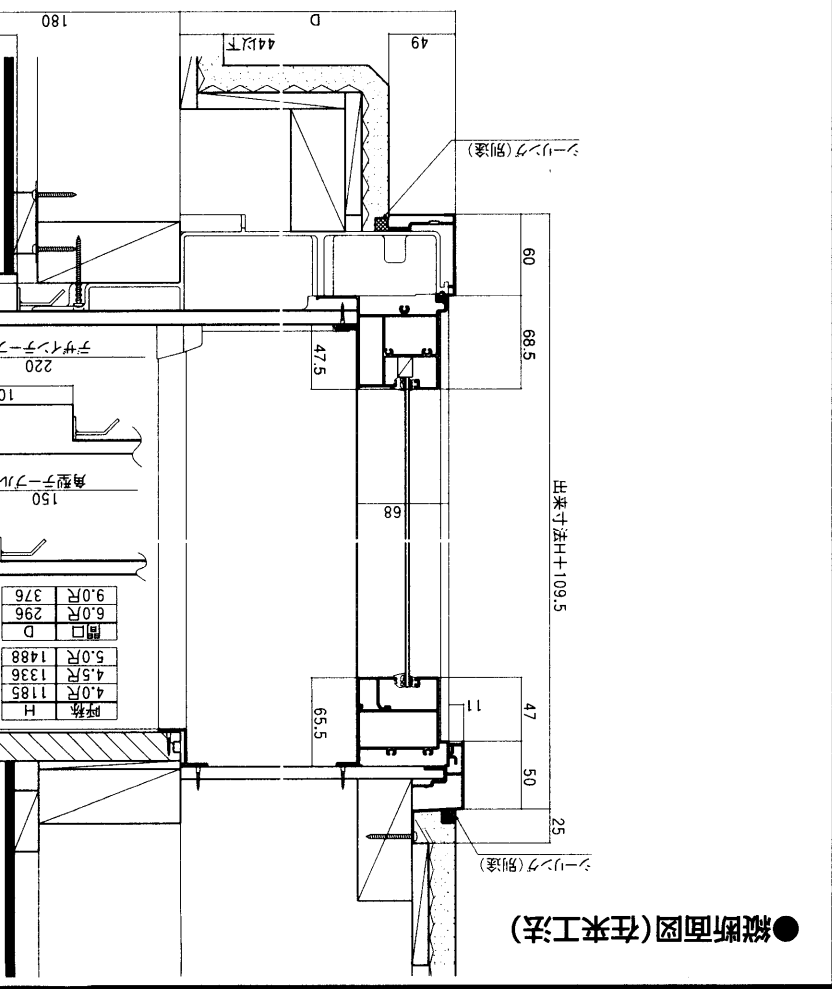
●造作材 (仕上げ材) と縦枠 (室内側)・天板見切り縁の固定 ※ねじを使用し、固定します。



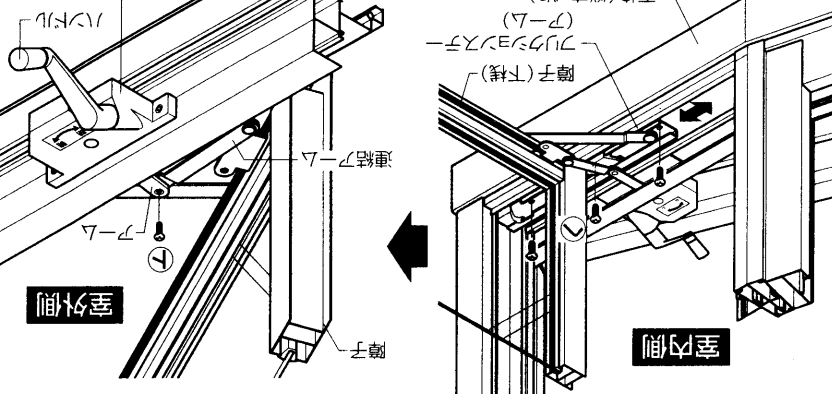
●フェニル板の取付け



●障子の取付け

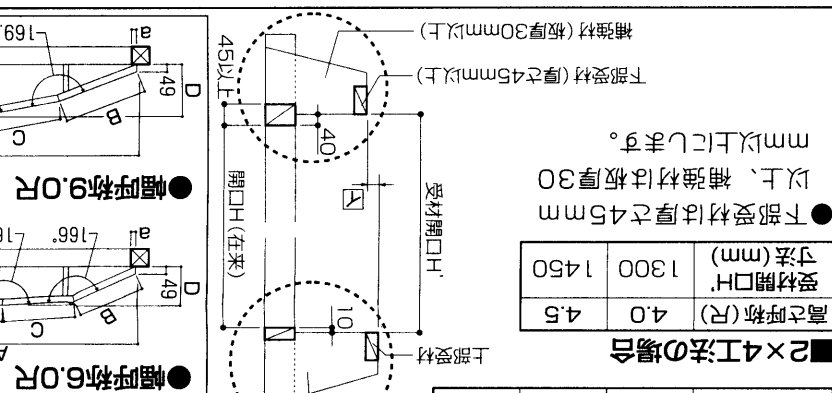


●縦断面図 (在来工法)



●障子の取付けとサロツクのからの調整

- ①障子の下棧・上棧からクリックメカニスム (フェニル) を引き出し、枠フェニルを出します。
- ②ハントルを回し、オベーターのフェニルを固定します。
- ③障子の接続フェニルとねじで固定します。
- ④サロツクの調整を行います。(内観左端障子サロツク下の調整フェニルを参照)



●2×4工法の場合

高さ呼称 (尺)	4.0	4.5
受材開口H' (寸法 (mm))	1300	1450

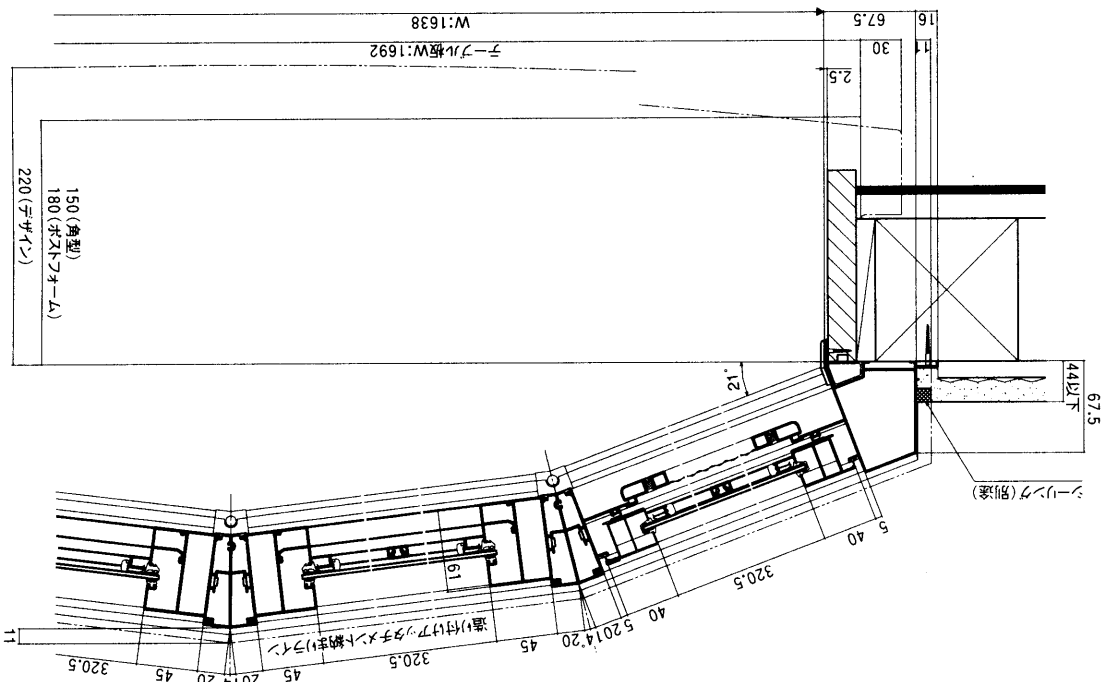
●下部受材は厚さ45mm以上、補強材は板厚30mm以上にします。

●幅呼称6.0尺

●幅呼称9.0尺

- 下枠幅木が必ず外部に出る納まりにしてください。
- 躯体と出窓の取合わせ部には防水シーリング(別売り)を張ってください。
- 躯体部の外壁は44mm以下に仕上げてください。

▲ 注意



● 横断面図(在来工法：幅呼称6.0尺)

